

# 奈良県立美術館 開館50周年

50年の歩みとコレクション

奈良県立美術館

若草山を望み、鹿が行き交う奈良公園の傍らに建つ奈良県立美術館。今年開館50周年を迎えました。

日本画家で風俗史研究家だった吉川観方氏のコレクション寄贈を機に開館し、現在の所蔵する作品は、鎌倉時代から現代にいたるまで4,600点を超えています。館蔵品を中心とした企画展やさまざまなテーマによる特別展など、これまで三百十数回の展覧会を開催してきました。

- ハプスブルグ家の遺宝
- 印象派の父 マネ展
- 比叡山・高野山名宝展
- 葛飾北斎展
- 近代日本の洋画名品展

## 1993

20周年

- 奈良ゆかりの現代作家
- ロシア近代絵画の至宝

- 横山大観の芸術展
- 中国敦煌展
- エル・グレコ展
- シルクロード大文明展
- エルミタージュ美術館展

## 1983

10周年

- 徳川将軍家の名宝展
- 印象派と栄光の名画展

- 吉川観方コレクション展
- ミレー・コロワ・クールベ展
- 増築記念 由良コレクション展
- プラハ国立美術館展
- ムンク展

## 1973

美術館開館

- 第1回展覧会
- 富本憲吉展



## 吉川 コレクション

吉川観方氏が生涯を通じて収集した絵画、浮世絵版画、染織をはじめとする工芸品など約2,000点。江戸時代から明治にかけての女性ファッションの歴史をたどることができます。

(上段右より)

《伝 淀殿画像》 桃山～江戸時代

《白紵地菊水文様小袖》 江戸時代

菱川師房 《見返り美人図》

(下段右より)

葛飾北斎 《瑞亀図》

歌川広重 《名所江戸百景のうち 亀戸梅屋舗》

伝 居初津奈 《雛形絵巻》(部分)

懐月堂安度 《立美人図》

